

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤知子
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	4298 健全育成推進事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費										
	事業	010000 健全育成推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。						家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 各町育成会活動への支援。 児童・少年を対象としたスポーツ大会の開催。 少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	子育てセミナーの参加者数				
算式	年間参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	—	—	—	1,500
	実績	1,603			
指標選定の理由	地域の自主的な開催を支援し、地域で関わる気運の醸成を図る。				
最終年度目標の根拠	少子化による全体の子育て世帯の減少も考慮する中で参加者増加に向けて設定				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		14,503	15,241
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		14,503	15,241
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.8	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,775.2	5,775.2
	嘱託職員	2,204.0	2,204.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,979.2	7,979.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		22,482.2	23,220.2

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	522	子育てセミナー講師、子どもスポーツフェスティバル・子どもフェスティバル・家庭の日作品等にかかる協力等謝礼454、記念品68
11節 需用費	452	消耗品120、食糧費61、家庭の日作品集等印刷271
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,795	子ども会育成連絡協議会負担金176、育成活動交付金7,453、運動施設補助金166
その他	5,734	人件費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	576	子育てセミナー講師、子どもスポーツフェスティバル・子どもフェスティバル・家庭の日作品等にかかる協力等謝礼、記念品代
11節 需用費	558	消耗品費、会議等食糧費、資料・チラシ・作品集等印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,881	各町育成会活動交付金、県・地方子ども会負担金
その他	6,226	人件費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	子どもの健全育成は、法的に定められた必要な事業ではない。しかし、次世代を担う子どもの育成は地域にとっては必要であり今の大人の責任でもある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	「子育ては家庭教育が原点」という原則があるとおり、子どもを取り巻く環境で大きく有効性が変わる。個々の家庭の実状や環境により、行政が事業を行っても関わってくれない現実がある。すでに熱心に関わってくれる人もいるが、そのような人を増やすためにどうすべきか課題。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	有効性と効率性は相反する事業。参加者を増やすためには、きめ細やかに行う必要があるため、効率は悪くなる。 50年続いた少年球技大会をやめ、子どもスポーツフェスティバル(ドッチビー)に変更した結果、今までは小学校高学年が中心だった参加者が、小学1年生から6年生が参加して交流できたのは大きな成果。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

子どもスポーツフェスティバル(ドッチビー)は内容的には良かったが、初開催だったため、効率的なやり方などの反省点を改善していく必要がある。また、子育てセミナーの地区単位の統合開催による効率化や育成会の活動交付金の見直し(減額)なども検討が必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>家庭・地域での子育て力の低下、スマートフォン等の普及によるコミュニケーション不足や犯罪被害の危険など、子どもの健やかな成長を妨げる社会構造の中で、子どもたち自身の成長と見守る大人の教育力の醸成が市民意識として必要</p>		<p>子育てセミナー等を通しての家庭教育の重要性の啓発、子ども会育成会連絡協議会との連携による地域ぐるみの子育て、子どもスポーツフェスティバルの取り組みなど、児童青少年健全育成のために有効な中核的事業。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	